

平成 28 年度高次脳機能障害者支援の実施状況及び課題等について (4月～12月)

1 高次脳機能障害者支援センター

高次脳機能障害者専門相談窓口として、平成27年7月に、地域リハビリテーション推進センター内に「高次脳機能障害者支援センター」(以下「支援センター」という。)を設置した。

支援センターには専門職員(医師1, 保健師2, 看護師2, 作業療法士1, 心理判定員1)を配置し、職員は利用者と福祉サービス事業所等とのつなぎや調整、サービスの選択や提供のための事業所等の相談員への助言、カンファレンス等への参加などを行う「支援コーディネーター」としての役割を担っている。

(1) 個別支援

ア 相談状況

平成27年度の年間実績(7月～3月分)と平成28年度の実績(4月～12月分)を比較すると、期間としては同じ9箇月間だが、相談件数としては約4割程度減少している。

この要因としては、支援センター設立当初の平成27年7月に75件(市民しんぶんや京都新聞での掲載による影響)の相談があったことによるものであり、その後は概ね月20件前後で推移しており、実質的には昨年度と比べて大きな変動はない状況である。

また、相談者別を見ると、家族からの相談が減少し、支援者からの相談の割合が増加した。相談内容については、症状や対応方法についての問合せが減り、具体的な退院後の生活についての相談が増加している。当センター支援施設に係る相談は件数としては最も多いものの、昨年度より減少している点について、当センターとしては分析を進める必要がある。

<相談者別状況>

相談者	27年度	28年度	増減
	251	154	△97
本人	35	23	△12
家族	100	37	△63
支援者等	116	94	△22

<方法別状況>

相談方法	27年度	28年度	増減
	251	154	△97
電話	219	146	△73
来所	32	8	△24

※27年度は年間(7月～3月)の実績、28年度は4月～12月までの実績。ともに9箇月分の実績となる

<主な内容（主訴）別状況>

相談内容	27年度	28年度	増減
	251	154	△97
疾病・症状	44	34	△10
対応方法	33	12	△21
診察希望	11	9	△2
退院後の生活	2	12	10
リハビリ希望	31	10	△21
当センター支援施設利用	63	34	△29
日中活動（在宅福祉サービス等）	15	11	△4
就労・復職	22	21	△1
復学	2	1	△1
運転免許取得	1	2	1
各種制度（手帳、年金など）	11	5	△6
その他	16	3	△13

※27年度は年間（7月～3月）の実績、28年度は4月～12月までの実績。ともに9箇月分の実績となる

イ 支援状況

これらの相談に対して行った支援の具体的な内容は以下のとおりである。

支援件数は、平成27年度に比べ平成28年度は約8割増加している。在宅での生活がスムーズに行えるよう、利用できる各種制度の紹介や高次脳機能障害の対応方法を助言する地域生活支援や、作業評価プログラムを取り入れ、復職や新たな就職、福祉就労に向けて職場やハローワーク、障害者職業センターと連携した就労支援など多様な継続的支援を行っている。

支援内容	27年度	28年度	増減
	879	1,566	687
相談助言	736	1,200	464
対処方法助言	531	1,108	577
制度施策案内	128	46	△82
当センター施設について	77	46	△31
専門医による診察	22	83	61
確定診断	5	14	9
支援方策の策定	5	21	16
その他（継続診療等）	12	48	36
心理検査	21	36	15
作業評価	71	173	102
同行支援	16	42	26
福祉サービス事業所	9	15	6
職業紹介機関	4	25	21
医療機関	1	0	△1
行政機関	2	2	0
カンファレンス参加	9	29	20
その他	4	3	△1

※支援した内容をすべてカウント

※27年度は年間（7月～3月）の実績、28年度は4月～12月までの実績。ともに9箇月分の実績となる

<継続支援の状況>

(27年度)

内訳		件数
継続支援を要する相談		40
支援終了件数		15
支 援 結 果	地域生活移行 就労 日中活動支援 確定診断 復学 その他	1 2 2 3 0 7
平成28年度に引継ぐ件数		25
支 援 目 標	地域生活移行 就労 日中活動支援 確定診断 復学	1 12 8 1 3

(28年度(12月末現在))

内訳		件数
継続支援を要する相談(27年度からの継続25件+新規44件)		69
支援終了件数		16
支 援 結 果	地域生活移行 就労 日中活動支援 確定診断 復学 その他	0 4 5 5 0 2
継続中の件数		53
支 援 目 標	地域生活移行 就労 日中活動支援 確定診断 復学	4 26 13 7 3

ウ 当事者・家族交流会

平成28年3月から開始し、月1回実施している。試行実施が終了する平成29年3月までの間に、その後の交流会の持ち方や他の家族会との関係等について検討することとしている。

<平成28年度の実施状況>

(平成28年12月末現在)

実施回数	延べ参加者数	内容
8	86	○日頃の悩み等について意見や体験談の交換 ○高次脳機能障害に関する情報共有 等

【個別支援に係る課題及び今後の方向性】

○支援センターに寄せられる相談の中には急性期病院や回復期病院での治療終了時等に後遺症の説明や高次脳機能障害の診断がなされていないため、当事者や家族が混乱していることがよく見受けられる。また、事業所等においても障害について正しく理解されていないために事業所利用につながらないこともよくある。今後は、医療機関も含め、事業所等への支援や市民への普及啓発を通じて理解の促進を図り、個別支援のニーズを掘り起こしていく。

○来年度は就労支援の取組を強化するとともに、在宅の日中活動支援についても訪問等により積極的に取り組んでいく。

(2) 事業所等への支援(研修)

ア 入門講座(別紙10)

基礎知識を学ぶ機会として実施している。平成27年度に実施した同講座は3回シリーズ、2クールで実施したが、今年度は新たにテーマを2つ加え、5回シリーズ、2クールで実施し

ている。(1クール目と2クール目は同じ内容)

同講座については、昨年度から多くの方に受講いただいており、引き続きニーズの高さがうかがえる。

<1クール目>

開催回	内 容	参加者数		
		27年度	28年度	増減
第1回	発症からのステップ	51	71	20
第2回	注意障害・記憶障害・遂行機能障害	69	71	2
第3回	社会的行動障害	69	54	△15
第4回	失語症(平成28年度から追加)	—	68	68
第5回	就労(平成28年度から追加)	—	53	53

<2クール目>

開催回	内 容	参加者数		
		27年度	28年度	増減
第1回	発症からのステップ	49	68	19
第2回	注意障害・記憶障害・遂行機能障害	57	74	17
第3回	社会的行動障害	59	67	8
第4回	失語症(平成28年度から追加)	—	2月実施	—
第5回	就労(平成28年度から追加)	—	3月実施	—

【関連資料】

(別紙10) 入門講座チラシ

イ 専門研修(別紙11)

高次脳機能障害のある方やその家族を支援する保健・医療・福祉関係機関の職員等を対象に、専門知識及び支援技術等の向上を目的に専門研修を実施した。今年度の参加者数は114名(昨年度は105名)と非常に多く、専門研修に対するニーズの高さがうかがえた。

実施日	内 容	参加者数
10月5日	○作業療法士(高次脳機能障害に特化したデイケアに従事)による講義 ○体験グループワーク ○事例報告	114

【関連資料】

(別紙11) 専門研修チラシ

ウ 支援者のためのステップアップ研修（別紙12）【平成28年度新規事業】

入門講座を受講された方や同程度の知識をお持ちの支援者を対象に、支援者間の交流や実践的な支援方法を身につけることを目的に、支援者間の情報交換やモデルケースのグループ検討等を行っている。（平成27年度は「支援者交流会」として実施したが、平成28年度は内容をより充実させ、新たにステップアップ研修として実施している。）

<1クール目>

開催回	内 容	参加者数
第1回	講義と支援者交流	26
第2回	モデルケースの支援検討①	16
第3回	モデルケースの支援検討②	13

<2クール目>（1クール目と同じ内容）

開催回	内 容	参加者数
第1回	講義と支援者交流	14
第2回	モデルケースの支援検討①	2月実施
第3回	モデルケースの支援検討②	3月実施

【関連資料】

（別紙12）ステップアップ研修チラシ

エ 医療機関、事業所等での研修・講師派遣

センター内で実施する研修のみならず、医療機関、事業所等へ出向き、関係者に対する研修等も実施している。

<実績>

（平成28年12月末現在）

実施日	場所等	対象・参加者数	内 容
7月9日	京都地域リハビリ ーション研究会	同会会員等 48名	同会主催のシンポジウムで講演 ○高次脳機能障害者支援センター支援コーディネーターの役割
8月24日	洛西ふれあいの 里療護園	施設職員15名	○高次脳機能障害について
12月8日	洛西寮	施設職員15名	○高次脳機能障害について～障害の特徴と対策例～ ○事例への対応・当センターの取り組み

※28年度中に京都市立病院、洛西シミズ病院、みぶ授産所でも実施予定

【事業所等への支援（研修）に係る課題及び今後の方向性】

- 高次脳機能障害は、脳の損傷部位によってその障害特性や支援の方法が異なるため、理解しづらく、今後ますます事業所支援が必要とされる。そのため、基礎的な内容からより専門的な内容までの研修の実施、事業所等への講師派遣、ケースカンファレンス等への参加など通じてきめ細かく対応していく。
- また、当センターとして多様なニーズに対応できるよう「出張講座（仮称）」事業を新たに立ち上げ、積極的に事業展開を図る。

(3) 普及啓発

ア 市民向けの講座

高次脳機能障害について、広く市民の方に知っていただくため、市民向けの講座を実施する。
(3月実施予定)

イ インターネットを使った情報発信

独自のホームページやフェイスブックを活用して、支援センター主催の研修等の案内を適宜行っているほか、近隣地域で実施される研修や講座等の情報発信も発信している。

ウ リーフレットの配布

支援センター開設にあわせて作成したリーフレットを各種事業やイベント等の際に配布している。

【普及啓発に係る課題及び今後の方向性】

- 講演会やイベント等の開催、他機関との連携を通じて、きめ細かな事業展開を図り、一般市民や民間企業、その他より多くの方々への普及啓発に努める。
- ホームページやフェイスブックを活用して、たくさんの市民を巻き込み関心を持っていただく。

(4) 京都府との関係について（地域リハビリテーション推進事業及び高次脳機能障害者支援）

(別紙13)

当センターと京都府リハビリテーション支援センターの職員が互いのセンターを訪問し、実施している事業の情報交換等を行っているが、今後も引き続き情報を共有し、連携して事業を進めしていく。

【関連資料】

(別紙13) 京都府リハビリテーション支援センター事業概要（平成27年度）

2 高次脳機能障害に特化した障害者支援施設

(1) 施設概要

当センター内に設置されている障害者支援施設について、平成27年4月から、支援対象者を従来の肢体不自由のある方から高次脳機能障害のある方に転換した。平成27年10月からは短期入所支援も開始した。

〔定員〕

- ① 自立訓練 40名（生活訓練10名、機能訓練（肢体不自由の障害を伴う方）30名）
(うち入所支援30名)
- ② 短期入所 空床利用

(2) 運営実績（平成28年度実績）

ア 訓練別利用者の状況

	総数	入所支援	
総数	28	7	
生活訓練	15	2	
機能訓練	13	5	

(平成28年12月末現在)

イ 平成28年度利用状況月別推移

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
新規 利用	自立訓練	0	2	4	2	1	0	1	0	1	11
	入所支援	0	1	4	0	1	0	0	0	0	6
利用 終了	自立訓練	2	0	1	0	3	0	1	0	2	9
	入所支援	1	1	0	1	0	0	1	1	2	7
月末現在数		24	26	29	31	29	29	29	29	28	28.2
入所支援		7	7	11	10	11	11	10	9	7	9.2
短期入所延人数		4	5	4	3	3	3	2	7	8	39
実利用者数		2	3	3	2	2	3	2	4	5	26

注)「月末現在数」の「計」は「月平均値」

ウ 自立訓練終了者の状況（終了者9名）

	訓練終了時の 入所・通所の別	終了理由	終了後の状況
1	通所	訓練期間満了	介護保険施設通所
2	通所	本人から退所申出	就労継続B型通所
3	通所	訓練期間満了	就労移行支援通所
4	通所	訓練期間満了	就労継続A型通所
5	通所	訓練期間満了	生活介護通所
6	通所	本人から退所申出	医療機関の診察でフォロー
7	入所	訓練期間満了	救護施設入所
8	通所	訓練期間満了	就労移行支援事業所通所
9	通所	訓練期間満了	医療機関の診察でフォロー

(平成28年12月末現在)

(3) 訓練プログラムについて（別紙14）

当センターでは大別して以下の4つのプログラムを実施している。

○セラピスト対応プログラム（PT訓練、OT訓練、ST訓練、個別認知リハ等）

○通常プログラム（運動、教養、清掃、グループクリエーション）

○特別プログラム（地域移行に向けたプログラム）

○その他（壁面制作、新聞づくり等）

高次脳機能障害のある方に特化した障害者支援施設として2年近くが経過したところであり、

支援プログラムの確立、民間事業者への還元等の先導的な役割を果たすため、なお一層の取組を進める必要がある。

【関連資料】

(別紙14) 障害者支援施設訓練プログラムの内容

【課題及び今後の方向性】

- 施設開所から2年目を迎える利用期間（機能訓練：最長18ヶ月、生活訓練：最長24ヶ月）の期限に達する利用者が生じており、退所に向けた支援（復職、就労支援事業所等への移行）を進めている。
- 訓練の効果はあるものの、本人及び家族が高次脳機能障害の受容に時間要するケースもある。また、復職等に当たり、会社や事業所の理解が不十分なケースもあるため、今後関係機関と連携を更に深め、利用者のニーズに応えていく必要がある。

平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」

この入門講座は、高次脳機能障害についての基礎知識を学ぶ講座です。1回のみの参加も可能です。

開催日		講座一覧	
平成28年	5月20日(金)	第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」	前期日程
	6月17日(金)	第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」	
	7月15日(金)	第3回 「社会的行動障害について」	
	8月19日(金)	第4回 「失語症について」 <small>(平成28年度から追加 NEW!)</small>	
	9月16日(金)	第5回 「就労に向けて」 <small>(平成28年度から追加 NEW!)</small>	
	11月18日(金)	第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」	
平成29年	12月16日(金)	第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」	後期日程
	1月20日(金)	第3回 「社会的行動障害について」	
	2月17日(金)	第4回 「失語症について」 <small>(平成28年度から追加 NEW!)</small>	
	3月17日(金)	第5回 「就労に向けて」 <small>(平成28年度から追加 NEW!)</small>	

※ 前期日程と後期日程の講座内容は同じです。講座内容の詳細については、裏面をご確認ください。

時 間:午前10時～午前11時
 会 場:京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室(京都市中京区壬生仙念町30番地)
 講 師:京都市高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーターその他
 受講対象者:市内にお住まいの高次脳機能障害のある方やそのご家族及びその支援者
 市内にお住まいの高次脳機能障害に関心がある方 (平成28年度から追加 NEW!)
 定 員:先着70名
 参 加 費:無料
 申込方法:別紙の「申込書」に必要事項を記載し、FAXにてお申込みください。
 (電話によるお申込みも受け付けます。)
 ※ 前期と後期で申込時期が異なりますので、ご注意ください。
 申込締切:各開催日の2日前(ただし、定員に達し次第、締め切れます。)

【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター(京都市中京区壬生仙念町30番地)

※京都市高次脳機能障害者支援センターは、京都市地域リハビリテーション推進センター1階にあります。

TEL : (075)823-1658 FAX : (075)842-1541

受付時間：月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く) 8:30～12:00及び13:00～16:00

ホームページ：<http://koujinhoukou-city-kyoto.jp>

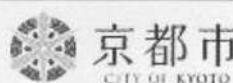
Facebook : <https://www.facebook.com/koujinhoukou.city.kyoto>



(ホームページ)



(Facebook)



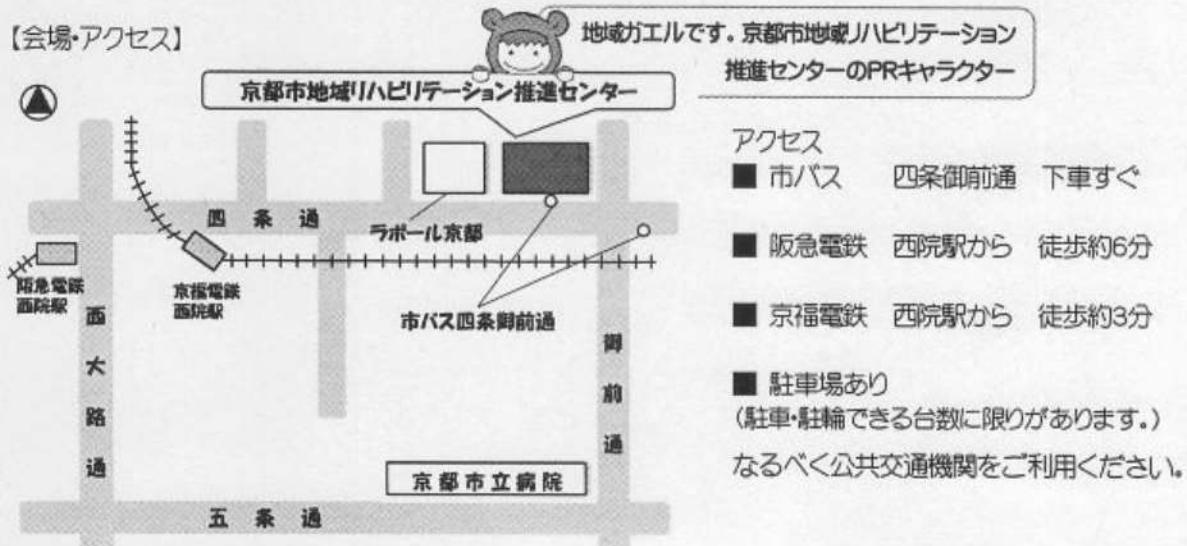
発行 京都市地域リハビリテーション推進センター
(平成28年3月発行)
 京都市印刷物 第275452号

平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」の講座内容の詳細です。

講 座 内 容	開 催 日	
	前 期 日 程	後 期 日 程
第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 高次脳機能障害とは？発症から社会参加に向けた各ステージで意識したいこと等をお話しします。	平成28年 5月20日(金)	平成28年 11月18日(金)
第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある注意障害、記憶障害及び遂行機能障害の概要とそれらに対する工夫例についてお話しします。	平成28年 6月17日(金)	平成28年 12月16日(金)
第3回 「社会的行動障害について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある社会的行動障害の概要とそれらに対する工夫例についてお話しします。	平成28年 7月15日(金)	平成29年 1月20日(金)
第4回 「失語症について」 (平成28年度から追加) 高次脳機能障害で生じる可能性のある失語症。 失語症の症状、失語症のある方の心理状態などの基本的な理解とそれを踏まえたコミュニケーションの取り方の工夫やツールについてお話しします。	平成28年 8月19日(金)	平成29年 2月17日(金)
第5回 「就労に向けて」 (平成28年度から追加) 高次脳機能障害のある方が、働くために必要なこととは？ 就労の準備から就労に至るまで、御本人や御家族及び支援者が、共通して知っておきたい基本的な内容や、支援・連携のポイントをお話しします。	平成28年 9月16日(金)	平成29年 3月17日(金)

※申込時期：前 期 日 程 分 は 平 成 28 年 4 月 1 日 か ら、

後 期 日 程 分 は 平 成 28 年 10 月 3 日 か ら お 申 込 を 受 け 付 け ま す。



平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」

前期申込用

この入門講座は、高次脳機能障害についての基礎知識を学ぶ講座です。1回のみの参加も可能です。

開催日	内 容
平成28年 5月20日(金)	第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 高次脳機能障害とは？発症から社会参加に向けた各ステージで意識したいこと等をお話します。
平成28年 6月17日(金)	第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある注意障害、記憶障害及び遂行機能障害の概要と、それらに対する工夫例についてお話しします。
平成28年 7月15日(金)	第3回 「社会的行動障害について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある社会的行動障害の概要と、それらに対する工夫例についてお話しします。
平成28年 8月19日(金)	第4回 「失語症について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある失語症について、言語聴覚士から、失語症の概要とそれに対する工夫例についてお話しします。
平成28年 9月16日(金)	第5回 「就労に向けて」 高次脳機能障害のある方が、働くために必要なこととは？ 就労の準備から就労に至るまで、御本人やご家族及び支援者が、共通して知りたい基本的な内容や、支援・連携のポイントをお話しします。

時 間:午前10時～午前11時

会 場:京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室（京都市中京区壬生仙念町30番地）

講 師:京都市高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーターその他

受講対象者:市内にお住まいの高次脳機能障害のある方やそのご家族及びその支援者

市内にお住まいの高次脳機能障害に関心がある方

定 員:先着70名

参 加 費:無料

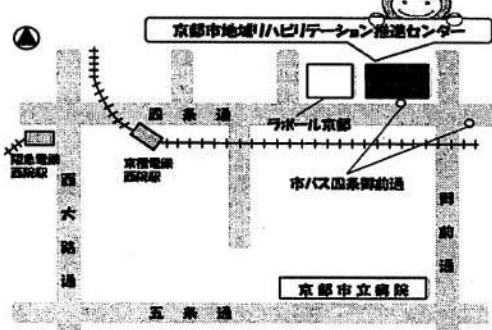
申込方法:裏面の「申込書」に必要事項を記載し、FAXにて

お申込みください。（電話によるお申込みも受け付けます。）

前期日程分の申込は、平成28年4月1日から受け付けます。

申込締切:各開催日の2日前

地域がエルです。



【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター（京都市中京区壬生仙念町30番地）

※京都市高次脳機能障害者支援センターは、京都市地域リハビリテーション推進センター1階にあります。

TEL : (075) 823-1658 FAX : (075) 842-1541

受付時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く） 8:30～12:00及び13:00～16:00

ホームページ：<http://koujinhoukinou-city-kyoto.jp>

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/koujinhoukinou.city.kyoto>



(ホームページ)

(Facebook)

平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」前期 申込書

必要事項をご記入のうえ、該当する□にチェック、受講希望日に○をしてください。

ふりがな		お住まいの行政区 () 区
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方 <small>連絡先Tel - 連絡先 FAX - 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)</small>	

受講希望日 (前期) (受講希望日に○をしてください。)

平成28年 5月20日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」

6月17日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」

7月15日(金) 第3回 「社会的行動障害について」

8月19日(金) 第4回 「失語症について」

9月16日(金) 第5回 「就労に向けて」

ふりがな		お住まいの行政区 () 区
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方 <small>連絡先Tel - 連絡先 FAX - 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)</small>	

受講希望日 (前期) (受講希望日に○をしてください。)

平成28年 5月20日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」

6月17日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」

7月15日(金) 第3回 「社会的行動障害について」

8月19日(金) 第4回 「失語症について」

9月16日(金) 第5回 「就労に向けて」

ふりがな		お住まいの行政区 () 区
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方 <small>連絡先Tel - 連絡先 FAX - 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)</small>	

受講希望日 (前期) (受講希望日に○をしてください。)

平成28年 5月20日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」

6月17日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」

7月15日(金) 第3回 「社会的行動障害について」

8月19日(金) 第4回 「失語症について」

9月16日(金) 第5回 「就労に向けて」

※前期日程分の申込は、平成28年4月1日から受け付けます。各講座の2日前までにお申込みください。

ただし、定員に達し次第締め切りますので、お早めにお申込みください。

FAX (075) 842-1541

<受付時間>月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く)
8:30～12:00及び13:00～16:00

平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」

後期申込用

この入門講座は、高次脳機能障害についての基礎知識を学ぶ講座です。1回のみの参加も可能です。

開催日	内容
平成28年 11月18日(金)	第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 高次脳機能障害とは？発症から社会参加に向けた各ステージで意識したこと等をお話しします。
平成28年 12月16日(金)	第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある注意障害、記憶障害及び遂行機能障害の概要とそれらに対する工夫例についてお話しします。
平成29年 1月20日(金)	第3回 「社会的行動障害について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある社会的行動障害の概要とそれらに対する工夫例についてお話しします。
平成29年 2月17日(金)	第4回 「失語症について」 高次脳機能障害で生じる可能性のある失語症について、言語聴覚士から、失語症の概要とそれに対する工夫例についてお話しします。
平成29年 3月17日(金)	第5回 「就労に向けて」 高次脳機能障害のある方が、働くために必要なこととは？ 就労の準備から就労に至るまで、ご本人やご家族及び支援者が、共通して知りたい基本的な内容や、支援・連携のポイントをお話しします。

時 間:午前10時～午前11時

会 場:京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室 (京都市中京区壬生仙念町30番地)

講 師:京都市高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーターその他

受講対象者:市内にお住まいの高次脳機能障害のある方やそのご家族及びその支援者

地域がエルです。

市内にお住まいの高次脳機能障害に関心がある方

定 員:先着70名

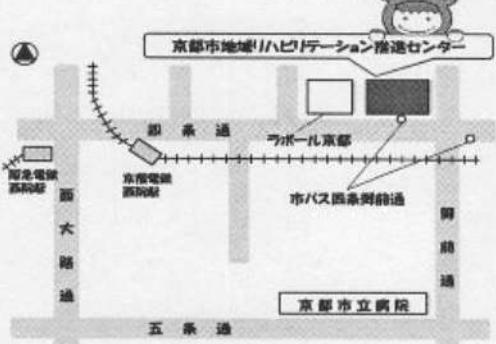
参 加 費:無料

申込方法:裏面の「申込書」に必要事項を記載し、FAXにて

お申込みください。(電話によるお申込みも受け付けます。)

後期日程分の申込は、平成28年10月3日から受け付けます。

申込締切:各開催日の2日前(ただし、定員に達し次第、締め切れます。)



【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター(京都市中京区壬生仙念町30番地)

※京都市高次脳機能障害者支援センターは、京都市地域リハビリテーション推進センター1階にあります。

TEL : (075) 823-1658 FAX : (075) 842-1541

受付時間：月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く) 8:30～12:00及び13:00～16:00

ホームページ：<http://koujinoukiou-city-kyoto.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/koujinoukiou.city.kyoto>



(ホームページ)

(Facebook)

平成28年度「高次脳機能障害 入門講座」後期 申込書

必要事項をご記入のうえ、該当する□にチェック、受講希望日に○をしてください。

ふりがな		お住まいの行政区 ()
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方	連絡先Tel 連絡先FAX 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)
受講希望日 (後期) (受講希望日に○をしてください。)		
平成28年11月18日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 12月16日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」 平成29年1月20日(金) 第3回 「社会的行動障害について」 2月17日(金) 第4回 「失語症について」 3月17日(金) 第5回 「就労に向けて」		
ふりがな		お住まいの行政区 ()
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方	連絡先Tel 連絡先FAX 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)
受講希望日 (後期) (受講希望日に○をしてください。)		
平成28年11月18日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 12月16日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」 平成29年1月20日(金) 第3回 「社会的行動障害について」 2月17日(金) 第4回 「失語症について」 3月17日(金) 第5回 「就労に向けて」		
ふりがな		お住まいの行政区 ()
申込者氏名	<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害のある方 <input type="checkbox"/> ご家族 <input type="checkbox"/> 支援者 <input type="checkbox"/> 上記以外の方	連絡先Tel 連絡先FAX 支援者の方は、事業所名を記入してください。 (事業所名)
受講希望日 (後期) (受講希望日に○をしてください。)		
平成28年11月18日(金) 第1回 「発症からのステップ～社会参加に向けて～」 12月16日(金) 第2回 「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」 平成29年1月20日(金) 第3回 「社会的行動障害について」 2月17日(金) 第4回 「失語症について」 3月17日(金) 第5回 「就労に向けて」		

※後期日程分の申込は、平成28年10月3日から受け付けます。各講座の2日前までにお申込みください。
 ただし、定員に達し次第締め切りますので、お早目にお申込みください。

FAX (075) 842-1541

<受付時間>月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く)
 8:30～12:00及び13:00～16:00



生活の場で活かそう！

～注意障害・記憶障害への支援テクニック～

こんな支援者にオススメ

- 記憶障害の方への支援方法を学びたい。
- 個別でも集団でも役立つ支援方法を知りたい。
- 支援方法の引き出しをもっと増やしたい。

ひとつでもチェックが入った方！
どうぞご参加下さい。

等々

記憶を補うためのメモは必要だと分かっているけれど…メモを取り入れにくい、メモが定着しない…など、支援の中で困ったことはありませんか？今回は、高次脳機能障害に特化したデイケアで、活躍されている作業療法士の俵あゆみ先生をお招きしています。認知リハビリテーションの視点を取り入れた実際のプログラムを体験し、明日からの現場での支援につなげていきましょう！

【日 時】平成28年10月5日（水）13：30～17：00（13：15受付開始）

【会 場】京都市地域リハビリテーション推進センター1階 研修室（京都市中京区壬生仙念町30番地）

【講 師】俵 あゆみ 作業療法士

大阪での更生施設、介護老人保健施設での勤務を経て、現在は、なやクリニックで認知リハビリテーションの視点を取り入れたデイケアを通じて、高次脳機能障害の特性に合わせたアプローチを日々実践。高次脳機能障害に関する研究発表や講演活動も行われ、活躍されています。

- 【研修内容】
- ①講義「なやクリニックで取組むグループ認知リハビリテーションとは！？」
 - ②体験グループワーク「注意力・記憶力を補う支援テクニックを学ぼう！」
 - ③事例報告

【対象者】市内にある障害福祉サービス事業所、地域生活支援センター、介護保険サービス事業所、地域包括支援センター、医療機関、各就労関係機関、各区福祉事務所及び各区保健センターに勤務する職員（職種を問いません。）

【定 員】先着60名（ただし定員に達し次第、締め切ります。）

【参 加 費】無料

【申込方法】裏面の申込書に必要事項を記載し、FAXでお申込みください（電話による申込みも受け付けます）
参加通知は行いませんが、参加申込みが定員を上回った場合は連絡いたします。

※手話通訳の必要な方は、平成28年9月21日（水）までにご連絡ください。

【申込締切】平成28年9月30日（金）（ただし定員に達し次第、締め切ります。）

【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター

（京都市中京区壬生仙念町30番地）

京都市地域リハビリテーション推進センター1階

TEL：(075) 823-1658

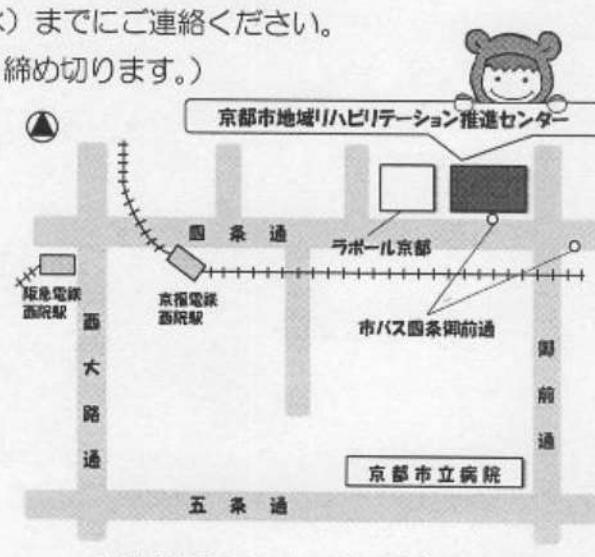
FAX：(075) 842-1541

受付時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）

8：30～12：00及び13：00～16：00

ホームページ：<http://koujinoukinou-city-kyoto.jp>

Facebook ：<https://www.facebook.com/koujinoukinou.city.kyoto>



※自家用車でのご来場はできません。
公共交通機関をご利用ください。

(申込先) 京都市高次脳機能障害者支援センター 行

**平成28年10月5日(水) 高次脳機能障害 専門研修
「生活の場で活かそう! ~注意障害・記憶障害への支援テクニック~」申込書**

*必要事項を記入し、当てはまる職種・所属に○印をつけてください。

ふりがな 氏名	職種 生活支援員(指導員)・相談員・ケアマネージャー・ヘルパー・MSW・ケースワーカー・OT・ST・PT・Ns・保健師・CP・その他() 高次脳機能障害の方の支援経験(有・無)		
ふりがな 氏名	職種 生活支援員(指導員)・相談員・ケアマネージャー・ヘルパー・MSW・ケースワーカー・OT・ST・PT・Ns・保健師・CP・その他() 高次脳機能障害の方の支援経験(有・無)		
ふりがな 氏名	職種 生活支援員(指導員)・相談員・ケアマネージャー・ヘルパー・MSW・ケースワーカー・OT・ST・PT・Ns・保健師・CP・その他() 高次脳機能障害の方の支援経験(有・無)		
所属先	障害福祉サービス事業所、地域生活支援センター、介護保険サービス事業所、地域包括支援センター、医療機関、各就労関係機関、行政機関、その他()		
所在地			
電話	()	FAX	()
高次脳機能障害に関する支援で質問したいこと、抱えている問題等があればご記入ください			

申込締切日：平成28年9月30日(金) (定員に達し次第締め切れます)

- ・参加通知は行いませんが、参加申込みが定員を上回った場合は連絡いたします。
- ・やむを得ず欠席される場合は、必ず事前にご連絡ください。
※手話通訳の必要な方は、平成28年9月21日(水)までにご連絡ください。

FAX(075)842-1541

<受付時間>月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く)
8:30～12:00及び13:00～16:00

～高次脳機能障害 支援者のためのステップアップ研修～

当センターでは、高次脳機能障害についての基礎的な講座として「高次脳機能障害 入門講座」を定期開催しています。参加された支援者の方からは、「障害理解を深めたい」、「より具体的な支援方法を学びたい」、「他の事業所ではどのように支援しているのか知りたい」等のご意見をいただきました。

そこで、「高次脳機能障害 入門講座」を受講された支援者の方を対象に、さらに一步踏み込んだ内容の研修として「支援者のためのステップアップ研修」を企画しました。モデルケースを通した講義の他に、実際にグループワークとしてケースの支援検討や支援者間の情報交換及び交流を行う3回シリーズの実践的な内容です。是非、ご参加ください！



1クール目

	日 時	内 容
1 回 目	7月 22日（金） PM13:30～15:30	【講義と支援者交流】 高次脳機能障害のある方を支援する際、どのようなポイントを押さえて障害特性を把握し、支援方法を検討していくべきか、モデルケースをとおして理解を深めます。その後、支援者間での情報交換や交流の時間を持ちます。
2 回 目	8月 26日（金） PM13:30～15:30	【モデルケースの支援検討①】 高次脳機能障害のどういった障害特性があり、どのようにことに配慮して支援をしていくべきか、グループでモデルケースを検討し、支援方法を学びます。
3 回 目	9月 30日（金） PM13:30～15:30	【モデルケースの支援検討②】 高次脳機能障害のどういった障害特性があり、どのようにに配慮して支援をしていくべきか、グループでモデルケースを検討し、支援方法を学びます。

2クール目

1 回 目	1月 13日（金） PM13:30～15:30	【講義と支援者交流】 上記、1回目を参照
2 回 目	2月 3日（金） PM13:30～15:30	【モデルケースの支援検討①】 上記、2回目を参照
3 回 目	3月 10日（金） PM13:30～15:30	【モデルケースの支援検討②】 上記、3回目を参照

※1クール目、2クール目は同様の内容です。（なるべく3回通してご参加ください。）

会 場：京都市地域リハビリテーション推進センター1階 研修室

(京都市中京区壬生仙念町30番地)

講 師：京都市高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーター

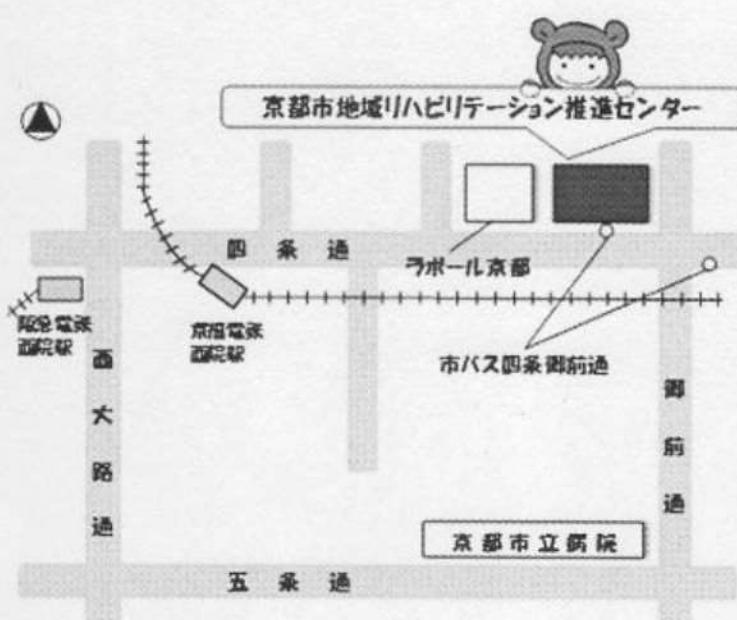
受講対象者：高次脳機能障害のある方の支援に関わる関係機関の方で、当センター開催の
「高次脳機能障害 入門講座」を受講済みの方又は、高次脳機能障害の基礎知識が
ある方（当研修では、入門講座のような基礎的な内容は含みません。）

定 員：先着40名

参 加 費：無料

申込方法：別紙「申込書」に必要事項を記載し、FAXにてお申込みください。
(電話によるお申込みも受け付けます。)

申込締切：各開催日の2日前（ただし、定員に達し次第、締め切れます。）



【申込先・問合せ先】

京都市高次脳機能障害者支援センター（京都市中京区壬生仙念町30番地）

※京都市高次脳機能障害者支援センターは、京都市地域リハビリテーション推進センター
相談課内（1階）にあります。

TEL：(075) 823-1658 FAX：(075) 842-1541

【受付時間】 月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）
8:30～12:00及び13:00～16:00

平成28年度「高次脳機能障害 支援者のためのステップアップ研修」参加申込書

FAX番号 075-842-1541

申込者氏名 および職種	ふりがな 氏名	職種 〔 〕
所属先事業所名		
連絡先TEL		
事業所所在地		
参加希望日 (□にチェック)	1クール目 <input type="checkbox"/> 7月22日(金) <input type="checkbox"/> 8月26日(金) <input type="checkbox"/> 9月30日(金)	2クール目 <input type="checkbox"/> 1月13日(金) <input type="checkbox"/> 2月 3日(金) <input type="checkbox"/> 3月10日(金)
(参考) 入門講座の 参加に関して	当センターの入門講座に参加されたことがありますか。 (ない , ある ⇒ある場合はいつ頃ですか? 下記より○印) H27年8~10月 / H28年1~3月 / H28年5月~	
(備考) 何か特記事項があれ ばご記入ください。		

申込者氏名 および職種	ふりがな 氏名	職種 〔 〕
所属先事業所名		
連絡先TEL		
事業所所在地		
参加希望日 (□にチェック)	1クール目 <input type="checkbox"/> 7月22日(金) <input type="checkbox"/> 8月26日(金) <input type="checkbox"/> 9月30日(金)	2クール目 <input type="checkbox"/> 1月13日(金) <input type="checkbox"/> 2月 3日(金) <input type="checkbox"/> 3月10日(金)
(参考) 入門講座の 参加に関して	当センターの入門講座に参加されたことがありますか。 (ない , ある ⇒ある場合はいつ頃ですか? 下記より○印) H27年8~10月 / H28年1~3月 / H28年5月~	
(備考) 何か特記事項があれ ばご記入ください。		

※なるべく3回通してご参加ください。 61

京都府リハビリテーション支援センター事業概要（平成27年度）

総合リハビリテーション充実事業

府民が住み慣れた地域で安心して、いきいきと暮らせるよう、急性期から回復期、維持・生活期まで継続した総合的なリハビリテーション提供体制を実現するため、人材面、施設面、連携面などから施策を実施

事業一覧		平成27年度事業内容
人材確保	理学療法士等修学資金貸与事業	施設等に在学中で卒業後一年以内に、府内の免除対象施設で仕事をしたいと考えている方に、就学を続けるのに必要な資金を貸与
	リハビリテーション専門職キャリアアップ研修	第10回京都府リハビリテーション行政課（保健所・市町村）研修 「まちづくりを見えた市町村活動における地域リハビリテーション～リハビリテーション関係者の役割と求めること～」
	維持・生活期リハビリテーション充実事業	看護師・介護職リハビリテーションスタッフアップ研修（地域リハビリテーション研修）※ 各地域リハビリテーションセンターで実施
	研修事業	機能訓練指導員専研修 南北各1回（全2回） 「機能訓練指導員が担う施設職員間での連携と生活リハビリテーション」
	小児・障害児者リハビリテーション研修会	摂食嚥下障害者に対する支援事業研修会
	リハビリテーション専門職受入研修	從事者向け研修会
	リハビリテーション専門職定着化促進事業 専門職技術向上研修	専門職向け研修会
	リハビリテーション巡回相談事業	基礎コース
	訪問支援	課題別コース
	摂食・嚥下障害者 対応支援事業	一般社団法人 京都府理学療法士会への委託
施設の拡充	研修会	一般社団法人 京都府作業療法士会への委託
	小児・障害児者リハビリテーション研修会と各種	一般社団法人 京都府言語聴覚士会への委託
	高専学校の巡回指導担当者等へのリハビリテーション講師の紹介	一般社団法人 京都府介護老人保健施設協会への委託
	就業フェア	リハビリテーション支援センターの理学療法士、作業療法士が介護老人福祉施設等に訪問し、リハビリテーションに関する相談を受け、支援を行う
	リハビリテーション専門職緊急確保対策	リハビリテーション支援センターの看護職が介護老人福祉施設等に訪問し、摂食・嚥下障害者やコミュニケーション障害等に関する相談を受け、支援を行う
	リハビリテーション医等の育成	従事者及び専門職向けに実施（小児・障害児者リハビリテーション研修会の内の1回と合併）※再掲
	京都府リハビリテーション教育センター	府立高等学校と私立高等学校へリーフレット送付
	訪問リハビリテーション事業所整備促進事業	『リハビリテーション就業フェア』2015の開催
	回復期リハビリテーション病棟整備促進事業	『福祉職場就職フェア京都』への参加（全3回）
	先端的リハビリテーション推進事業	京都府リハビリテーション教育センター運営 リハビリテーション教育プログラムの作成、座学研修会の実施等
連携体制のシステム化	地域リハビリテーションコーディネート事業	在宅療養者が訪問リハビリテーションサービスを受けられる環境を整備するため、事業所開設等に要する経費に助成
	クリティカルバス・IT活用病診連携推進費	府内での回復期リハビリテーション病棟の設備を促進するために、施設及び設備の整備事業に要する経費一部を助成
		最新鋭リハビリテーション治療機器等導入助成事業 先端的リハビリテーション治療法導入事業
		地域リハビリテーション支援センターに地域のリハビリテーションサービス資源等に精通したコーディネーターを配置し、地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスの助言相談、リハビリテーション専門職への訪問指導、リハビリテーションサービス窓口担当者との事例検討会の開催等を実施
		地域リハビリテーション支援センターへの委託 リハビリテーションサービスの助言相談 リハビリテーション専門職への訪問指導
		府内全域でITを活用したクリティカル・バス（地域連携バス）を導入することにより病院間の情報共有の迅速化を図り、切れ目のない医療ケア、患者の早期社会復帰を実現するため、クリティカル・バス（地域連携バス）のIT化に助成（医療費）

高次脳機能障害者及びその関連障害に対する支援普及事業

事業一覧		平成27年度事業内容
普及啓発事業	相談支援事業	支援コーディネーター（常勤1名、嘱託兼任1名）を配置 高次脳機能障害者、家族、医療機関、福祉施設等関係機関からの相談対応 電話相談 来所相談 訪問、同行支援 グループワーク（かもがわグループ）※医療機関からの紹介によりコーディネーター、OT,STの体制で実施
	支援ネットワークの構築	南部支援ネットワーク会議
	講習会	北部支援ネットワーク会議 京都市域支援ネットワーク会議
	ホームページ等による情報発信	脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会への協力（損保協会助成事業、実行委員会方式にて実施）南北各1回（全2回）
		研修会、講習会等の開催案内を随時掲載
		失調症当事者・家族交流会
		医療関係者等を対象とした研修会
	研修事業	
	行政職員、福祉事務官、医療関係者等に対する研修会	

【プログラムの内容：機能訓練】 —利用者向け—

1 セラピスト対応プログラム

- ・PT(理学療法)訓練、OT(作業療法)訓練は1コマに複数の利用者が参加、個々の課題に沿った取組を行います。ST(言語聴覚)訓練と個別認知リハについてはマンツーマン（1対1）で行います。
- ・利用者の希望と担当セラピストの評価などを踏まえた上でプログラムの調整をしますが、実施回数についてはそれぞれ週2回（週5日利用の場合）を基本とします

	内容	対応職員	場所
《1》 PT 訓練	移動能力や基本動作などの向上を目的に、筋力増強や持久力訓練などに取り組んでいただきます。歩行能力評価、外出評価、公共交通機関利用評価なども必要に応じて実施します。	理学療法士	4階リハ室
《2》 OT 訓練	生活するために必要な能力（上肢操作などの基本的能力、入浴や家事などの応用的能力、就労などの社会的適応能力）の獲得を目指し、上肢機能訓練や利き手交換訓練、認知課題プリント、創作活動などに取り組んでいただきます。日常生活動作の評価も実施します。	作業療法士	4階リハ室
《3》 ST 訓練	失語症や構音障害の改善を目指し、ことばの訓練や評価を実施します。	言語聴覚士	6階 ST 室
《4》 個別 認 知 リハ	個別対応が必要な利用者に対し、心理士が認知リハを実施します。	心理士	5階 多目的室
《5》 グルーブ 活動	注意・記憶機能の改善や感情面の調節を目的に、宿題発表や課題に沿ったゲームに取り組んでいただきます。また、障害の気づきや対処法の獲得を目指し、振り返りの場も設けています。小集団で実施します。（1クールを3ヶ月とする）	作業療法士	5階 多目的室
《6》 ことば グループ	コミュニケーション能力の向上を目指し、集団の中で話を理解する力や、自分の言いたいことを伝える力を身につけることを目標に、読み物を音読したり感想を話し合ったりします。小集団で実施します。（1クール3ヶ月とする）	言語聴覚士	5階 多目的室

※上記の訓練とは別に必要時、各セラピストによる個別の評価や面談を組み入れさせていただくことがあります。

2 通常プログラム

利用者と担当支援員とで相談させていただき、組み立てていきます。

	内容	対応職員	場所
《1》運動	①運動プログラム I 必須 柔軟性の改善などを目指すプログラムです。主にマット上でストレッチなどをしていただきます。	理学療法士 支援員	3階体育館
	②運動プログラム II 必須 バランスの改善などを目指すプログラムです。立位での活動を中心、ボールを使った運動などををしていただきます。	理学療法士 支援員	3階体育館
	③レクリエーションスポーツ 必須 ボッチャ、卓球バレー、ゲートボール、ディスコンなど、集団でのスポーツに取り組んでいただきます。楽しみながら体力づくりをしていただくと共に集中力や注意力、コミュニケーション能力の向上を目指していただきます。	理学療法士 支援員	3階体育館
	④お手軽筋トレ 必須 筋力の維持、改善を目指すプログラムです。椅子に座ってできる筋トレなどを中心に行います。	理学療法士	3階体育館
	⑤体育館活動 歩行、階段昇降、マット運動、平行棒内歩行など、ご自身で安全に取り組んでいただける内容のものをPT評価のもとで提案させていただきます。	支援員	3階体育館
《2》教養	①教養プリント 漢字、計算、書きとりなど、一般的な学力を維持すること及び集中力の向上を目的に各種のプリントに取り組んでいただきます。	支援員	5階学習室
	②パズル系 ナンプレ・点描写・ロンポス・ペグ・間違いさがしなど、構成能力や注意力、集中力の向上を目的とするプログラムです。	支援員	5階学習室
	③パソコン パソコン操作の習得を希望される方に、教材を使用してワードの基本操作を主な訓練とするプログラムです。	支援員	5階学習室
《3》清掃	週に1回(金曜日)、入所の方は居室清掃とシーツ交換、通所の方は体育館などの館内清掃を行っていただきます。社会生活活動に重点を置いたプログラムです。	支援員	各居室・ 体育館など
《4》 グループ クリエーシ ョン	トランプ、ウノ、ジェンガなどのゲームを通して、利用者同士の交流を図り、コミュニケーション能力の向上を図るプログラムです。	支援員	5階 多目的室

《5》 グループ歩行	安全に屋外を歩く（または車椅子走行）ができる利用者が対象です。目的地を決めて（西院往復や三条御前など）歩行訓練をしていただきます。	支援員	屋外 (雨天時は 3階 体育館)
《6》 グループ学習	自分の障害を理解し、地域社会において自立と社会参加を目指すためのプログラムです。お互いに意見交換し、グループで学びます。	心理士 支援員	5階 多目的室
《7》 S S T 〔社会生活 技能訓練〕	自分の考え方や、してほしいことを相手にうまく伝える、相手の人の言うことにうまく応えるなど、社会生活を送る上で必要な対人関係技能の改善を目指します。ロールプレイによる練習や、改善案の話し合いを通して、相手の感情に気付くなど、自身の行動を振り返ることができます。小集団で実施します。	作業療法士 支援員	6階 ワークルーム

3 特別プログラム

ニーズのある利用者にのみ取り入れるプログラムです

	内容	対応職員	場所
《1》 地域移行 に向けた プログラム	①買い物・調理・家事動作など 地域移行（施設利用終了）間近の利用者が自宅に戻られたときの家事全般について、ご自身の能力を確認していただいたり、必要な援助を検討していただくためのプログラムです。	作業 療法士 担当 支援員	4階 ADL室 など
	②帰宅練習 入所から通所に移行される場合や、通所方法の変更を希望される場合などに、安全性や注意点などを確認するためのプログラムです。	理学 療法士 担当 支援員	屋外

4 その他

《1》 自主活動	自分で用意してもらった課題、もしくは施設で用意する数種類のプリント類、塗り絵、カレンダー作りなどの中から選択し、利用者がひとりでできることを行ってもらいます	支援員	5階学習室
《2》 壁面制作	参加する利用者同士で相談しながら、季節に応じた大型の壁面装飾を作っていただきます。完成後は施設内に掲示します。	支援員	5階学習室
《3》 新聞づくり	意見交換や各々の主張など、参加する利用者同士がコミュニケーションをとりながら協働していくことに重点をおいています。他のプログラムで学習したことや訓練したことを発揮しながら、日常の出来事を振り返って記事を作り、壁紙新聞を製作します。小集団で実施します。	作業 療法士 支援員	5階学習室

*利用者個々の週間プログラムの作成について

- ①入所の方は入浴の時間を調整させていただきます。(月・水・金の週3回)
- ②セラピスト対応プログラム(PT・OT・ST)については、評価をした後に調整させていただきます。
- ③通常プログラムについては、利用者と担当支援員とで相談させていただき、組み立てていきます。
“休憩時間にする”など、空き時間があってもかまいません。

【プログラムの内容：生活訓練】 —利用者向け—

1 セラピスト対応プログラム

- ・ST(言語聴覚)訓練と個別認知リハについてはマンツーマン（1対1）で行います。
- ・利用者の希望と担当セラピストの評価などを踏まえた上でプログラムの調整をしていきます。

	内容	対応職員	場所
《1》 脳トレ	注意機能、記憶機能の改善や、利用者間のコミュニケーションの活性化、感情の表出・調整を目的に、小集団でゲームを行います。	作業 療法士 心理士	5階 学習室
《2》 認知リハ	注意や記憶機能の改善と、障害の気づきを促すことを目的に、小集団の場で個別の学習教材に取り組んでいただきます。	作業 療法士 心理士	5階 学習室
《3》 作業活動	趣味や生活を豊かにするため、社会生活場面での創作・表現活動を目指し、個別課題に沿った創作プログラム（ビーズ、糸、籠やタイル等の手工芸）を実施します。	作業 療法士	4階リハ室
《4》 ST訓練	失語症や構音障害の改善を目指し、ことばの訓練や評価を実施します。	言語 聴覚士	6階 ST室
《5》 個別認知 リハ	個別対応が必要な利用者に対し、心理士が認知リハを実施します。	心理士	5階 多目的室
《6》 グループ 活動	注意・記憶機能の改善や感情面の調節を目的に、宿題発表や課題に沿ったゲームに取り組んでいただきます。また、障害の気づきや対処法の獲得を目指し、振り返りの場も設けています。小集団で実施します。（1クールを3ヶ月とする）	作業 療法士 心理士	5階 多目的室
《7》 ことば グループ	コミュニケーション能力の向上を目指し、集団の中で話を理解する力や、自分の言いたいことを伝える力を身につけることを目標に、読み物を音読したり感想を話し合ったりします。小集団で実施します。（1クール3ヶ月とする）	言語 聴覚士	5階 多目的室

※上記の訓練とは別に必要時、各セラピストによる個別の評価や面談を組み入れさせていただくことがあります。

2 通常プログラム

利用者と担当支援員とで相談させていただき、組み立てていきます。

	内容	対応職員	場所
《1》運動	①運動プログラムⅠ 柔軟性の改善などを目指すプログラムです。主にマット上でストレッチなどをしていただきます。	理学療法士 支援員	3階体育館
	②運動プログラムⅡ バランスの改善などを目指すプログラムです。立位での活動を中心に行なう、ボールを使った運動などををしていただきます。	理学療法士 支援員	3階体育館
	③レクリエーションスポーツ 必須 ボッチャ、卓球バレー、ゲートボール、ディスコンなど、集団でのスポーツに取り組んでいただきます。楽しみながら体力づくりをしていただくと共に集中力や注意力、コミュニケーション能力の向上を目指していただきます。	理学療法士 支援員	3階体育館
	④お手筋トレ 月曜日は必須 筋力の維持、改善を目指すプログラムです。椅子に座ってできる筋トレなどを中心に行います。	理学療法士	3階体育館
	⑤体育館活動 歩行やボール運動、簡単なレクリエーションスポーツなどに取り組んでいただきます。PT評価のもとで提案させていただきます。	支援員	3階体育館
《2》教養	①教養プリント 漢字、計算、書きとりなど、一般的な学力を維持すること及び集中力の向上を目的に各種のプリントに取り組んでいただきます。	支援員	6階 ワーク ルーム
	②パズル系 ナンプレ・点描写・ロンポス・ペグ (DLM)・間違いさがしなど、構成能力や注意力、集中力の向上を目的とするプログラムです。	支援員	6階 ワーク ルーム
	③パソコン パソコン操作の習得を希望される方に、教材を使用してワードの基本操作を主な訓練とするプログラムです。	支援員	6階 ワーク ルーム
《3》清掃	週に1回(金曜日)に、入所の方は居室清掃とシーツ交換、通所の方は体育館などの館内清掃を行っていただきます。社会生活活動に重点を置いたプログラムです。	支援員	各居室・ 体育館など
《4》 グループ クリエーシ ョン	トランプ、ウノ、ジンガなどのゲームを通して、利用者同士の交流を図り、コミュニケーション能力の向上を図るプログラムです。	支援員	5階 多目的室

《5》 グループ歩行	安全に屋外を歩く（または車椅子走行）ができる利用者が対象です。目的地を決めて（西院往復や三条御前など）歩行訓練をしていただきます。	支援員	屋外 (雨天時は 3階 体育館)
《6》 グループ学習	自分の障害を理解し、地域社会において自立と社会参加を目指すためのプログラムです。お互いに意見交換し、グループで学びます。	心理士 支援員	5階 多目的室
《7》 SST 〔社会生活〕 〔技能訓練〕	自分の考え方や、してほしいことを相手にうまく伝える、相手の人の言うことにうまく応えるなど、社会生活を送る上で必要な対人関係技能の改善を目指します。ロールプレイによる練習や、改善案の話し合いを通して、相手の感情に気付くなど、自身の行動を振り返ることができます。小集団で実施します。	作業療法士 支援員	6階 ワーカルーム

3 特別プログラム

ニーズのある利用者にのみ組み入れるプログラムです

	内容	対応職員	場所
《1》 地域移行 に向けた プログラム	①買い物・調理・家事動作など 地域移行（施設利用終了）間近の利用者が自宅に戻られたときの家事全般について、ご自身の能力を確認していただいたり、必要な援助を検討していただくためのプログラムです。	作業 療法士 担当 支援員	4階 ADL室 など
	②帰宅練習 入所から通所に移行される場合や、通所方法の変更を希望される場合などに、安全性や注意点などを確認するためのプログラムです。	理学 療法士 担当 支援員	

4 その他

《1》 自主活動	自己で用意してもらった課題、もしくは施設で用意する数種類のプリント類、塗り絵、カレンダー作りなどの中から選択し、利用者がひとりできることを行ってもらいます	支援員	5階学習室
《2》 壁面制作	参加する利用者同士で相談しながら、季節に応じた大型の壁面装飾を作っていただきます。完成後は施設内に掲示します。	支援員	5階学習室
《3》 新聞づくり	意見交換や各々の主張など、参加する利用者同士がコミュニケーションをとりながら協働していくことに重点をおいています。他のプログラムで学習したことや訓練したことを発揮しながら、日常の出来事を振り返って記事を作り、壁紙新聞を製作します。小集団で実施します。	作業 療法士 支援員	5階学習室

*利用者個々の週間プログラムの作成について

- ①入所の方は入浴の時間を調整させていただきます。（月・水・金の週3回）
- ②セラピスト対応プログラム（ST）については、評価をした後に調整させていただきます。
- ③通常プログラムについては、利用者と担当支援員とで相談させていただき、組み立てていきます。
“休憩時間にする”など、空き時間があってもかまいません。